

(お 知 ら せ)



平成25年 2月 5日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成25年2月5日現在）

1号機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2号機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成25年1月9日～平成25年2月5日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（平成25年2月5日現在）

（1）建設準備工事

現在、背後斜面の緑化管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、コンクリートプラントにて製造されるコンクリートについて、品質確認のための試験を継続しています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

(1) 組織の一部改正について

当社は、平成25年1月23日付で、原子力緊急事態が万が一発生した場合に、発災事業所への機材の運搬等を行い、災害対応を支援することを目的に、敦賀総合研修センター（敦賀市杳見）に「原子力緊急事態支援センター」を設置します。
(平成25年1月22日発表済み)

また、平成25年1月23日に敦賀総合研修センターにおいて、原子力緊急事態支援センターの設置及び資機材の配備状況を報道関係の方々に公開しました。

(2) 敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査状況について

当社は、平成24年12月18日に原子力規制委員会（以下、「規制委員会」という。）に提出した追加調査計画の改訂に基づき実施しているボーリング調査の現場を平成25年1月22日に報道関係の方々に公開するとともに、敷地内破砕帯に関する当社の考え方を説明しました。

平成25年1月28日に開催された規制委員会の「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合」の第2回評価会合（以下、「第2回評価会合」という。）において、評価書案について審議が行われましたが、当社が平成24年12月11日に提出した「公開質問状」で示した疑問に十分に答えておらず、今なお活断層か否かを判断する上で重要なポイントについて、科学的データに基づく判断となっていないと思われることから、当社の見解を公表しました。

(平成25年1月22、28日発表済み)

平成25年2月1日、原子力規制庁において、第2回評価会合の評価書案のドラフトが事前に当社に渡されていたことに関して原子力規制庁の臨時記者会見が行われ、当社は、同日にコメントを公表しました。

平成25年2月4日に平成25年2月1日付「当社コメント」内容を一部変更し発表しました。

(平成25年2月1、4日発表済み)

(3) 敷地周辺活断層の連動性評価に係る追加の地形・地質調査計画の見直しについて

当社は、敦賀発電所敷地周辺の活断層の連動性評価について平成24年5月の旧原子力安全・保安院の見解案を踏まえ、調査計画を平成24年6月に策定し、連動性評価のための追加の地形・地質調査を実施しており、平成25年1月を目途に調査結果を報告する計画でしたが、調査の状況に応じて適宜補足の調査を実施しており、現地での調査も含めて調査・評価に時間を要していること等から調査期間を平成25年6月まで延期しました。

(平成25年1月30日発表済み)

(4) 原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況について

当社は、「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」に基づく、敦賀発電所における津波評価については、国の外部有識者会合において津波の新安全設計基準に係る審議が進められていることから、審議の状況等も踏まえ検討を実施し、評価が取りまとめ次第速やかに報告します。

また、敦賀発電所における浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価については、国における活断層の規模や地震動に関する審議の状況等も踏まえ検討を実施し、評価が取りまとめ次第速やかに報告します。

(平成25年1月30日発表済み)

5. その他

(1) 原子力事業者防災業務計画修正に伴う関係自治体との協議の開始について

東日本大震災の教訓を踏まえ、原子力災害対策特別措置法や防災基本計画等が改正されたこと及び原子力災害対策指針等が策定されたことに伴い、事業者に対して「原子力災害予防対策の実施」等、新たに取り組むべき事項が示されました。

また、当社が定める原子力事業者防災業務計画に反映させ、関係自治体と協議の上、国に届け出ることが省令で定められました。

当社は、敦賀発電所の原子力事業者防災業務計画の修正案を取りまとめ、平成25年1月11日、関係自治体との協議を開始しました。

(平成25年1月11日発表済み)

(2) 敦賀発電所2号機 放水口モニタのダウンスケールについて

平成25年1月11日8時34分ごろ、敦賀発電所2号機中央制御室で放水口モニタの故障警報が発報し、同モニタの測定値が表示されない事象が発生しました。

調査の結果、資機材搬入用モノレールのレール設置用の支柱を打設した際に、誤って放水口モニタの信号伝送ケーブルを損傷させたことが判明しました。

(平成25年1月11日発表済み)

その後、信号伝送ケーブルの修理が完了し、同日18時25分に放水口モニタの伝送を復旧しました。

(3) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

1) 幾何学キネマ 寫眞展^{しゃしん} ～ Love is… ～

[第八幕を迎えた今回は『LOVE』『冬』『free』をテーマとし、敦賀市在住の男女9名(代表:山口 祥平 様、遊津 梓 様、清水 美穂 様、高田 幸太 様、竹越 弘貴 様、玉村 麗良 様、山内 一世 様、山形 将一 様、山田 智子 様)がファインダー越しに見た“それぞれのセカイ”を“それぞれが表現”した個性溢れる写真を45点展示しています。]

(2月5日～2月17日)

2) 田中 悟 2011～2013 写真展

〔敦賀市在住の田中 悟 様による、主に地元敦賀市内を歩きながら撮影した写真展です。風景、スナップ、人物などジャンルを問わず、カラーや白黒写真など様々な作品を15点展示予定です。〕
(2月19日～2月24日)

3) 第10回 写団「さつき」写真展 ―不断着の心で―

〔発足して6年目を迎えた写団「さつき」(代表：斉藤 武吉 様)の皆様による写真展です。毎月粟野公民館にて勉強会を行い、自然の恵みに感謝しながら、焦らず不断着の心で撮影した作品を40点展示予定です。〕

(2月26日～3月3日)

(4) げんでんふれあい福井財団イベント

<福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。>

文化講演会

テーマ：「大爆笑！征平の挑戦」

会 場：小浜市文化会館（小浜市）

日 時：2月10日（日） 13：20～14：50

講 師：桑原 征平氏（元関西テレビアナウンサー）

主 催：小浜市連合婦人会